

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2021/09/21号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



(注) 2021/09/12まではWTI原油価格連動型上場投信のデータ (出所) Refinitivよりマーケットエッジ作成

## 米原油在庫減少で高値更新後、調整売り膨らむ

NY原油先物相場は、1バレル=73.14ドルまで値上がりして8月2日以来の高値を更新した後、週末にかけて72ドル水準まで上げ幅を縮小する展開になった。前週に続いて大型ハリケーン「Ida」通過後の原油、石油製品需給の混乱が警戒され、戻り高値を更新した。ただ、短期的な買い材料出尽くし感も強まり始める中、週後半は上げ一服感が目立った。為替がドル高に振れたこともネガティブ。

メキシコ湾の原油生産の停止比率は、9月10日時点の66.36%に対して17日時点では23.19%となっている。ハリケーン上陸から3週間近くが経過した状態でも2割強の生産が停止しており、米原油在庫の減少傾向が維持されたことが原油相場を押し上げた。ただ、既に正常化が見え始める中、週後半は調整売りが上値を抑えた。一方、石油輸出国機構 (OPEC) と国際エネルギー機関 (IEA) の月報が公表されたが、予想に反して強めの需要見通しが示されたことはポジティブ。ワクチン接種の普及による経済活動の正常化を楽観視している。特にIEAは、既に需要改善の兆候があると報告している。

米エネルギー情報局 (EIA) 発表の米石油在庫 (9月10日時点) は、原油が前週比642万バレル減、ガソリンが186万バレル減、石油精製品が169万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項 (ディスクレーム) をお読み下さい。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 米生産正常化で調整リスク高まるが、早めに押し目買い入るか

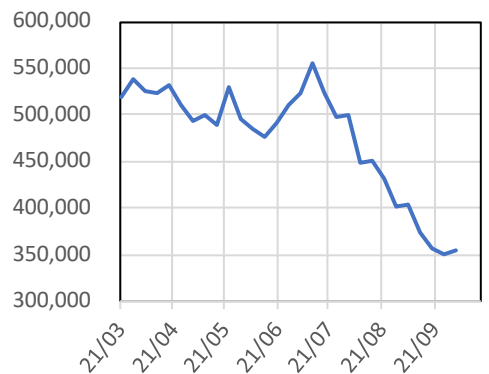
ハリケーン「Ida」による原油需給の混乱は消化が一巡し、上げ一服感から調整売りが広がり易い。短期需給ひっ迫のリスクのプレミアム解消が要求される。ただ、8月下旬にみられたように改めて需要不安を織り込む形で急落する必要性は乏しく、上昇地合における調整安の有無が問われる局面に留まろう。67.50~72.00ドル水準にレンジは切り下がろう。

米原油在庫は6週連続で減少し、既にパンデミック前の2019年と同水準に留まっている。本来だと製油所メンテナンスシーズンで在庫は増加し易い時期だが、更に在庫の取り崩しが進むと、底固さが再確認され易い。ただ、目先はこれまでの急伸地合に対する調整が求められ、その際に70ドル割れから更に60ドル台後半まで調整売りが進む可能性は想定しておきたい。

一方、ハリケーンの混乱が続いている間に、国際原油需要環境に対する評価は大きく変わっている。前週はOPECとIEAが特に2022年の需要見通しを大きく引き上げており、需要拡大が続くことで在庫の減少傾向も維持されるとの楽観ムードが改めて強くなっている。このため、8月23日安値61.74ドルを試すようなリスクは低下しており、70ドル割れでは押し目買いが下値を支える可能性が高い。

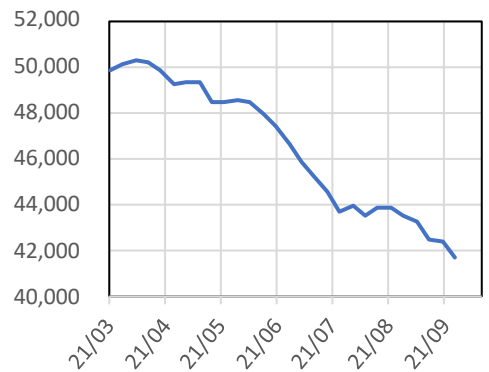
イベントとしては、9月24日に中国が戦略石油備蓄の初入札を実施する。約738万バレルと中国の半日分の消費量だが、どのような反応がみられるのかに注目したい。また、中国不動産大手の経営危機で、信用リスクの暴走がみられるかにも注意が求められる。9月21~22日の米連邦公開市場委員会(FOMC)前後のドル相場の動向も注目度が高い。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



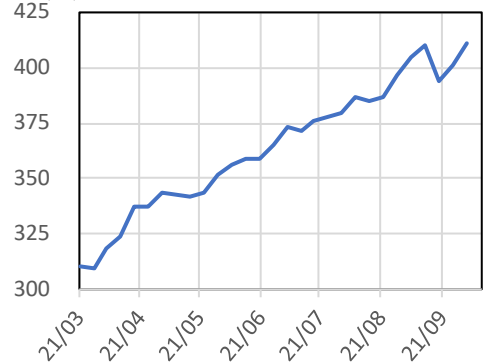
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <http://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

